

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22 年 11 月 25 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3471503957		
法人名	株式会社ホンダニイマルヨン		
事業所名	グループホーム木之庄		
所在地	〒720-0082 広島県福山市木之庄町3-3-17 TEL 084-923-7163		
自己評価作成日	平成22年7月8日	評価結果市町受理日	平成22年7月9日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	〒739-1733 広島県広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成22年11月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点(事業所記入)】

<p>認知症は自分の思い、思い出までが少しずつ壊れていきます。その不安を日常生活の中で、いつも同じことの繰り返しの日々を過ごすことにより、共に助け合い、安心して暮らせるよう職員一同努力しています。“傍に誰かが居てくれる”安心して最期(ターミナル)まで暮らせるグループホームです。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>木の庄は市街地にありながら、居室は採光を考慮した配置で廊下も広く取ってあります。リビングはキッチン、たたみ部分、テーブル周り等使いやすく工夫されています。職員は家族の要望を良く聴き、「心身ともに健康で思いやりのある温かいグループホーム」という理念のもとに、入居者に寄り添い本人が最後まで安心して暮らせるよう手厚いケアを実践して居られます。</p>
--

グループホーム木之庄

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。</p>	<p>掲示板に明示し、日頃よりミーティング中に話し合っています。</p>	<p>[心身共に健康で思いやりのある温かいグループホーム]の理念を掲げている。入社間もない職員もしっかり理念を理解し職員全員でその人らしい暮らしの支援をしている。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>入居者が重度化され外出はなかなか難しい面もありますが、状態を見ながら行ける場所には出かけるよう心がけています。</p>	<p>入居者が重度化された上、去年はインフルエンザが流行し、外出が難しくなったが、出来るだけ公園などに出かけるようにしている。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>実習生の受け入れを通じてグループホームや認知症の人の理解や支援の方法等を伝えています。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>参加を呼びかけ日程調整をしながら運営推進会議を行い、当施設の現状をお伝えし、意見交流をしています。</p>	<p>町内会長、包括支援センター、ご近所の方、入居者、家族、施設の職員、管理者が参加し、2カ月に1回開催している。自己評価や外部評価について報告し、助言を頂いている。</p>	
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。</p>	<p>お話しする機会があればその都度当施設の現状を伝えていきます。また困った時、相談したい時等市役所介護課へ行っています。</p>	<p>生活保護や、認定更新手続きなどの機会も活用し、施設の状況を説明したり、相談に乗って貰ったりしている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束は無いグループホームです。玄関や居室は施錠せず開放されたグループホームです。</p>	<p>身体拘束はしていない。又、玄関の施錠もしていない。比較的交通量の多い道路に面しているが、常に出入りに注意し安全に配慮している。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>いじめのないグループホームを目指しています。虐待は今のところありません。日頃からアザ、傷等注意しています。</p>		

グループホーム木之庄

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	以前入居されていた方が利用されていましたが、今後も必要な人には活用出来るよう支援していきたいと思えます。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居される時に説明しています。またその都度説明しています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	本人または本人に代わり家族から要望が出れば、その都度可能な限り対応しています。	入居者または家族から、要望があれば出来るだけ取り入れている。ほとんどの家族が、毎月面会に来られるので、積極的に意見を聞くようにしている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	よりよい施設にしていきたいためにその都度話し合っています。	介護方法や、備品の整理の仕方など職員が相互に意見交換し良い介護ができるよう努めている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	良いところは誉め、職員同志刺激を与え合いながらより良い介護サービスが出来るように努めています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	必要と思われる研修には出来るだけ参加できるよう計画し調整しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同業者との交流会には出来るだけ参加し情報交換等を通してサービスの質向上に努めています。		

グループホーム木之庄

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人からの訴えをよく聴き安心して生活が送られるように努めています。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>面会時、電話等で家族の話をよく聴くようにし、何が不安で困っているのか受け止めるようにしています。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>出来る事と出来ない事を見極め、他のサービスが必要であれば対応するよう努力しています。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>出来る作業は職員と一緒にしてもらい時には入居者から知恵を借りながらやっています。</p>		
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族にも出来る部分は協力していただき、皆で本人を支えていけるよう努めています。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人の住んでいた家の近所の方も面会に来られる事も有り、自由に来て頂けるよう声をかけています。</p>	<p>家族や入居前の知人や近所の方たちが訪問しやすいように支援している。入居間もなくは大声を出したりされる方もあるが、家族の写真を見て貰ったりして気を紛らせて貰っている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>仲良く平穩に過ごせるように声をかけたりして入居者同志励まし合える関係を作れるように努めています。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>問い合わせが入ればその都度対応し家族からは近況を伺っています。</p>		

グループホーム木之庄

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意思が伝えられる方からは話の中から希望意向をつかみ、意思伝達が困難な方は家族からの話を元に検討しています。	一日一言ノートをお一人ひとり作り、入所から退所までの記録をとっている。七夕に書いた願い、塗り絵などもノートに貼り付けている。何気ない表現からその方の要望をくみ取るようにしている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人、家族、これまでのサービス利用先から生活歴、経緯等を聴き把握に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの状態に合った過ごし方をしてもらい残存機能を活かした介護をしています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人や家族の意向、提携医療機関からの助言を元に、本人にとってよりよい介護計画を作成しています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別のケース記録を日々記入し、職員全体で情報を共有し、実践や介護計画の見直しに活かしています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	出来る事はできるだけ入居者の希望に応じられるよう家族とも相談しています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	民生委員、ボランティア、消防(消火訓練)、教育機関(実習生の受け入れ)と協力しながら支援しています。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	家族の承諾を得て提携先医療機関で定期的にまたはその都度往診をお願いしています。	月2回内科の往信があるほか、症状に応じてその都度往診して貰っている。歯科は必要に応じ、受診の行けない方は往診して貰っている。終末期は日に何度も往診して貰うこともある。	

グループホーム木之庄

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	往診時提携先病院の看護師さんに個々の状態を伝えていきます。またわからない事、心配な事は相談しています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	以前入院していた病院がある方はその病院へ依頼し、難しい方は提携病院と話し合い状態に応じた入院先を紹介してもらいます。入院後は綿密に情報交換を行います。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	提携病院と綿密に連絡を取り、本人の状態を共有し、救急往診も依頼出来る体制を整えています。	入居の際終末期の在り方については、本人・家族と十分話し合っている。救急病院の手配は維新にして貰っている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	ターミナルケアを取り入れているため、その時、その場で常に容態の急変や初期対応に気をつけて介護に活かしています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災訓練を行っています。また災害時近所の方が在宅であれば協力して頂けるようお願いしています。	年2回避難訓練を行っている。夜間火災が発生した想定で訓練した。近所の方へも呼びかけ協力をお願いしている。	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの違いを尊重し、さりげない介護ができるように気をつけています。	人格を尊重し、その方に合った介護を心掛けている。つじつまの合わない話をされても、会話に入りさりげなくフォローする。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	一人ひとりに合わせた説明を行い、本人の希望に添う支援を心がけています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日常生活内で食事等大体の時間は決めてありますが、個々の状態に合わせ臨機応変に対応しています。		

グループホーム木之庄

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	以前美容院を利用していた方には近所の美容院まで付き添い支援していました。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	季節、旬の食材を取り入れ野菜の仕分け、スジ取り等出来るところを協力していただいています。	お正月、敬老の日、クリスマスなど、その方に合った行事食を作り季節を楽しんでもらう。同時に、行事は家族にも案内して、一緒に楽しんで貰っている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分または繊維の多い野菜、色々な野菜の組み合わせ等栄養バランスには気をつけています。水分も1日1500ccを目安にしています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後の歯磨き、うがい等個々に応じて実施しています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄パターンを把握し声かけ、誘導しています。	昼間は全員トイレ誘導し、おむつの方もトイレで排泄して貰っている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘予防のため食事内容を工夫したり、運動、腹部を温める等しています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	出来るだけ本人の希望に合わせてるように心がけています。	入浴は週3回。入浴できない方は清拭、足浴をする。寝たきりの方は陰部の清拭も頻繁にする。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活習慣を大切に、就寝時間は決めていません。また気持ちよく眠れるように寝具の整備も行っています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬内容をケース記録に添付いつでも見られるようにしています。		

グループホーム木之庄

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	日常生活で洗濯たたみ、野菜の仕分け等出来るところは協力してもらっています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個々の状態をみながら、出来る限り対応しています。また家族へ本人の希望を伝え出来るだけ実現するように協力してもらっています。	重度化が進み、全体での外出は難しくなっているが、ご家族にも協力をもとめ、お一人ひとりの外出の機会を出来るだけ作るようにしている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金の管理が出来ない人が多い為、施設側で預っています。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	用事がある時等電話を利用してもらっています。		
52	19	居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	家庭的な家具を揃え、季節の花を飾る等明るい雰囲気になっています。	廊下は十分な広さがあり部屋は明るく広々している。家族の写真などを貼っている方もある。殆どの方が居室から出て1日中リビングで過ごされ、リビングには温かな雰囲気漂っている。寒い季節には、炬燵が2か所おかれ、ゆっくりできる。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	それぞれに個室と共有空間には畳の間を設け自由に過ごせるようにしています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みの家具や生活用品を持ってきていただいています。	居室は明るく過ごしやすい。なお写真などを飾っている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	入り口の扉に「便所」「エレベーター」等表記して迷わないように工夫しています。またトイレや廊下には手すりを設置しています。		

グループホーム木之庄

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。		ほぼ全ての利用者の 利用者の3分の2くらい 利用者の3分の1くらい ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている		ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		ほぼ全ての家族と 家族の3分の2くらいと 家族の3分の1くらいと ほとんどできていない

グループホーム木之庄

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている		ほぼ全ての職員が 職員の3分の2くらいが 職員の3分の1くらいが ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族等が 家族等の3分の2くらいが 家族等の3分の1くらいが ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム木之庄
 作成日 平成 年 月 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1			<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日1日を大切に過ごす ・ お互い理解し合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝える言葉 心が通じる言葉 思いやりがありここだったら安心して普通に暮らせる を目指して1日1歩ずつ努力しています 	
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。